

(様式第7号)

令和3年度 年度評価表

1 指定管理施設の概要

施設名	舞鶴親海公園			
指定管理者	株式会社農業法人ふるる			
設置目的	海に親しむ憩いの場、海を基調とした自然との触れ合いの場及びレクリエーションの場を提供し、都市との交流を図ることにより地域の活性化に寄与するため。			
選定方法	公募・非公募	指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日	
所管課	産業振興部産業創造室農林水産振興課、建設部土木課			

2 利用状況等の推移

	令和3年度	年度	年度	年度	年度
利用者数(人)	12,562				
指定管理料(円)	5,852,000				

3 成果(数値)目標の達成状況

成果(数値)目標の種類	市設定目標	年間目標(A)	実績(B)	達成率(B/A)
漁村活性化センターの利用人数	13,000人	11,000人	6,052人	55%
海釣護岸の利用人数	10,000人	10,000人	6,510人	65%

4 収支状況

(円)

収入		支出	
利用料金	-	人件費	7,606,877
指定管理料	5,852,000	維持管理費	1,484,148
事業収入	5,901,503	事業費	8,984,353
その他	4,211,345	その他	0
合計	15,964,848	合計	18,075,378
差額			△2,110,530

5 所管課による評価

項目	評価	コメント
(1) 事業計画の達成度		
成果(数値)目標を達成しているか	△	コロナ禍による施設の閉鎖が4月下旬から6月上旬まで及び8月下旬から9月末までと長期間に及んだため、漁村活性化センター、海釣護岸とも利用人数は年間目標に対してそれぞれ55%、65%の達成率に留まった。
施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営を行ったか	○	概ね施設の将来的な構想(ビジョン)に沿った運営ができた。
施設の果たすべき使命(ミッション)を果たしたか	○	概ね施設の果たすべき使命(ミッション)を果たした。
市指定事業、自主事業は計画どおり行われたか	△	コロナ禍により、施設を閉鎖したため、計画どおりの営業(開園)日数は実施できなかった。
利用者数の増加、利用率の上昇などが図られたか	○	営業(開園)日数が確保できない状況ではあったが、新メニューの開発、テイクアウトメニューの充実、SNSによる情報発信などの取組みが図られた。
(2) 利用者の満足度		
利用者の満足が得られたか	◎	アンケート結果等によると満足が得られているものと認められる。
利用者の意見・要望の把握は適切に行われたか	○	レストランではアンケートや利用者から直接聞き取るなど、意見の把握に努めている。
利用者の要望・苦情への対応は十分に行われたか	○	特に問題なく対応できた。
(3) 管理運営の効率性		
経費の節減が図られたか	○	人件費や光熱水費など経費削減に努めた。

委託費、物品の購入費等の経費が最小となるような取組が行われたか	○	食材の在庫管理を徹底することにより、経費削減に努めた。
収入増加のための取組が行われたか	○	宴席以外の収入を増加させるため、テイクアウトメニューや喫茶メニューの充実を図った。
(4) 適正な管理運営		
適切な人員配置が行われたか	○	少数のスタッフながら、食事提供の時間などサービスが低下することはなく適切な人員が配置されていた。
職員の能力向上のための取組が行われたか	○	接遇の研修受講など能力向上のための取組が行われた。
施設の平等な利用が行われたか	○	特に問題なく利用されている。
個人情報の管理が適切に行われたか	○	予約客の名前、電話番号等の個人情報について、適切に管理されている。
情報の公開が適切に行われたか	○	該当する事案はなかった。
収支状況や会計処理が適切か	○	収支状況や会計処理に特に問題はない。
施設・設備の法定点検及び保守が適切に行われたか	○	法定点検及び保守は、専門業者等に委託し、適切に行われている。
備品等の管理が適切に行われたか	○	備品等の管理は適切に行われている。
危機管理、安全対策などは十分か	○	仕様書に基づく安全管理計画や事故対応マニュアルが作成されている。
法令等を遵守し、適正な管理が行われたか	○	管理運営にあたっては法令を遵守し、適正に行われている。
(5) その他コメント		
サービス向上		舞鶴親海公園は、以前から海が望めるロケーションがとても良く、家族連れで安心して楽しめるとの高い評価を利用者から得ている。レストランのメニューが年度末からコロナ対策や店長の交替により変更されたが、今後も利用者のニーズをよく把握し、利用促進に努めていただきたい。また屋外のテラスや店内に設置されたコーキングスペース、親水池などを有効に活用し、集客につながる取組を継続して実施していただきたい。
経費削減		人件費や光熱水費など経費削減の取組により、赤字幅を少なくしたことは評価できるが、次年度も厳しい情勢は続くものと予想されるので、サービスの向上、売上の増加、スタッフの体制を十分に検討して運営に当たっていただきたい。
施設の維持・管理		適切な維持管理を行っていただいているが、公園利用者の快適性、利便性向上のため、更にもっときめ細やかな管理により公園利用者に不快感を与えることがないよう努めていただきたい。漁村活性化センター及び海釣り護岸については、定期的な点検と清掃を徹底し、また、公園部分についても定期的な除草、剪定、清掃を実施し、常に利用者にとって心地良い空間を提供できるよう努めていただきたい。

※ (1)から(4)までにおける評価区分

- ◎(優)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準より優れた内容である。
- (良)： 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に沿った内容である。
- △(可)： 協定書、仕様書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- ×(不可)： 協定書、仕様書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な内容である。

6 選定委員会による評価

評価点	3点	※左記の点数は、各委員が次の5段階評価を行い、その点数を平均したものです。 5：良い、4：やや良い、3：普通、2：やや悪い、1：悪い
総評	<p>経営向上に向け釣り客への販売PRなど積極的な集客の取組を実施すべきと思われる。赤字が増大する中で、使命感は伝わるが、これまで以上に大きな改革が必要である。多額の累積赤字が不安である。</p> <p>令和3年度の赤字は仕方ないと思われるが、令和4年度はコロナ関連の補助金等が見込めない分もっと厳しいと思われる。</p> <p>海の舞鶴の観光地として欠かせない場所だと思うので、期待している。</p>	

《参考》 過年度の評価点

年度	年度	年度	年度	平均